

令和2年度第2回狛江市市民活動支援センター運営委員会 議事録

1 日時 令和2年11月4日(水) 10:00~11:45

2 場所 狛江市民センター

3 出席者

委員：青木香奈 伊藤輝芳 伊藤聡子 上田英司 内海貴美  
小川三男 梶川朋 佐藤新哉 清水信之 進藤実  
松村正俊 三角佐智子 長尾眞木 古川裕朗  
事務局：大山寛人 斉藤あや子 高橋善治

(50音順 敬称略)

4 委任状 委員：三島瑞子

5 傍聴者 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため傍聴は中止。

6 議題

(1) 報告事項

- ①指定管理業務の報告について
- ②専門部会からの報告について
- ③社会資源(場所)の情報収集・ホームページの発信について
- ④第三者評価の報告
- ⑤令和2年度狛江市後期基本計画の指標等に係る市民アンケート調査の報告について

(2) 協議事項

- ①令和3年度事業計画(案)について
- ②運営委員会の今後の方針について

(3) その他

- ①コミュニティFM放送(コマラジ)への出演について
- ②令和2年度フォーラム(狛江☆サミット)の開催について
- ③市民活動支援センターの移転について

7 配布資料

(事前配布)

[資料1] 狛江市市民活動支援センター指定管理業務報告書

[資料2] 第三者評価の報告について

[資料3] 令和2年度狛江市後期基本計画の指標等に係る市民アンケート調査の報告について

[資料4] 令和3年度狛江市市民活動支援センター事業計画(案)

(当日配布)

社会資源(場所)の情報収集・ホームページの発信について

## 8 会議概要

### (1) 開会

#### ①委員長あいさつ

委員長よりあいさつがされた。

### (2) 議題

#### ①報告事項

##### ㊸指定管理業務の報告について

資料に基づき、令和2年7月1日から9月30日までの報告を事務局より行った。

##### ㊹専門部会からの報告について

専門部会（体験学習部会、広報部会、ホームページ部会）の活動状況について報告がされた。

### (委 員)

体験学習部会で障がい者理解の動画を作成したことは良い取り組みである。こうした動画を作ったことを障がいのある方にも知ってもらう必要があると考える。健常者に障がいを理解してもらうための取り組みとして動画を作っている。このことを障がい者にも知らせていく取り組みも必要である。

### (委 員)

作成した動画をきっかけに障がいのある方について考え、発展させていくように使われると良いのではないかと思う。

##### ㊸社会資源（場所）の情報収集・ホームページの発信について

運営委員の参加により進めている社会資源（場所）の情報について検討チームでの作業の進捗状況について報告がされた。

### (委 員)

市民活動を始めるにあたり活動場所が大きい課題である。公民館や地域センターなどの大きな公共施設の情報はあるが、有料老人ホームが地域へ開放しているスペースや活動に利用できるカフェなどの情報があると活動に取り組むときに助かる。また、今まで使われていない場所も今回の調査で使えるようになることなども大きな意義を持つ。

どの場所でどの団体が活動しているか地図でも確認できると良いと考えている。情報をわかりやすく、見える化について検討していくことが必要である。

(委員)

市民活動にとって費用負担が少なく気軽に会場を使えるということは大きなことである。調査していく中で費用やスペースの規模、市内での分布、申し込み方法などはどうか？

(事務局)

営業後の店舗を無料で活用して良いと言っている場所もある。市内十数か所の使い方や料金など様々な社会資源（場所）の情報がある。

ホームページでの発信は、場所を探す入口としての情報と考えているので名称、住所などの基本情報と合わせてスペースの利用方法、音の出る活動が出来るか、駐輪場や駐車場の有無、利用料金、Wi-Fiの有無などを情報として載せていくことで検討している。

①第三者評価の報告について

狛江市市民参加と市民協働に関する審議会による平成31年度こまえくぼ1234（狛江市市民活動支援センター）の管理運営について、第三者評価の結果について報告がされた。

(委員)

評価にあたって、事業内容を伝えるためにどのような形をとったのか。

(事務局)

評価にあたっては、平成31年度事業報告書を審議会に提出した。例年であれば審議会に支援センター職員が出席して説明を行ない、質問に対して答えている。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため資料提出のみでの評価となった。

(委員)

審議会の委員の立場から言うと審議会の評価にあたっては審議会の委員からの質問事項を事務局（狛江市企画財政部政策室担当）に提出して回答を受けてから評価を行った。

(委員)

市民活動支援センター（以下「支援センター」と言う。）の認知度について、意見が出されているが数値目標は設定されていない。目標に向けての手段がわからないため運営委員会で意見がしにくい。

(事務局)

現在は、運営委員会が支援センター事業に対して自己評価をしていない。

今後、自己評価と第三者評価をあわせて次年度の事業計画について議論できる体制づくりを検討していくことが必要と考えている。

⑤令和2年度狛江市後期基本計画の指標等に係る市民アンケート調査の報告について

令和2年度狛江市後期基本計画の指標等に係る市民アンケート調査の結果についての報告がされた。

(委員)

調査報告の結果や第三者評価に対して何か回答をするのか。

(事務局)

特に回答はしていない。

第三者評価による指摘事項や市民アンケート調査の報告を参考として、取り入れて事業計画を策定している。

②協議事項

①令和3年度事業計画(案)について

令和3年度に重点取組と大きな変更のある事業について事務局より説明がされた。

(委員)

2つある広報誌が一本化されると掲載される情報量が半分に減る。市でも他の情報誌を出しているが、目的が違うから一緒に出来ないと思っている。「こまえがお」と「わっこ」を一緒にするのはしかたがないが発行目的に違いがあるのであれば明確にしてもらいたい。違いがあることをハッキリと主張してもらいたい。

(委員)

発行目的の違いをハッキリするのは賛成です。私は、市民活動の一つに趣味・学習・習い事の活動とボランティア・社会貢献を含む活動の二つがあり違いがあると思う。ですので、「こまえがお」の活動は市民が言いたい事を言うだけでなく自分たちも働く、行政や企業とともに取り組み、活動することだと思う。協働の考え方も大切とおもうので、市民活動「わっこ」で一括りされるのは如何かと思う。

(事務局)

紙面構成、掲載する内容などについて所管課と調整をしている。

(委員)

コロナ禍でリモートが中心になっている。リモートになると活動者が減ってくるように感じている。モチベーションをあげることが必要ではないか。

(事務局)

コロナ禍であっても活動を維持していく一つの手段としてのリモートであり、活動者同士の繋がりを維持していくための活用と考えている。

(委員)

狛江は大学がないので学生が少ない、若い世代が少ないと言われるが、狛江に住む学生もリモート授業、社会人もリモートワークとなり地域で過ごす時間が増えてきている。地域での活動に関心を持ってもらえる層、学生を巻き込むアプローチが必要になってきている。

重点事業にある「きっかけづくり講座」は、重要であると考えている。

(委員長)

協議事項なので、承認をいただきたいと思う。ご指摘をいただいた内容などは、実行計画などで反映していただきたい。方向性の確認が取れましたので採決を取りたいと思う。承認の方は挙手をお願いする。

全員の賛同が得られましたので承認とする。

④運営委員会の今後の方針について

運営委員会として積極的に検討チームなどに関わっていく方針が委員長より説明を行ない、改めて確認をした。

(副委員長)

開設当初から個人的には、専門部会へ参加をしてきましたが皆様も是非参加をしてもらいたい。

(委員)

5ヶ年の事業計画の中で小委員会と専門部会が出てきているが、この違いは何か、現在小委員会は設置されているのか。

(事務局)

小委員会は現在設置されておられません。委員会形式でやるのかどうか内部で決まっていないので、事業計画の中では検討チームとして表現をしております。提言などへ繋げるかどうかも検討する。

(委員)

小委員会は設置しますか。

(委員長)

小委員会は委員会の中に設置するもので、委員会発議で承認性による時限的なものである。小委員会については現段階では何もない状態である。

検討チームは、もう一段階下のものであり、小委員会を設置するかどうかを話合う場合もある。

(委員)

確認ですが、運営委員会の中には部会はなく、支援センターの中には部会があります。

### ③その他

#### ①コミュニティ FM 放送（コマラジ）への出演について

11月13日より毎週金曜日8:00～11:00で放送されているKOMAE AM Friday Art Circusの番組内コーナーでボランティア・市民活動団体を紹介する放送が始まること事務局長より報告された。

#### ②令和2年度フォーラム（狛江☆サミット）の開催について

狛江市企画財政部政策室とフォーラムを共催での開催にむけて事務レベルで協議を進めていることが事務局長より報告された。

#### ③市民活動支援センターの移転について

11月1日付広報こまえに記事が掲載されたこと、市民活動支援センターの移転に関しては「狛江市民センター改修等基本方針」について狛江市から法人本部、支援センターに説明があったことが事務局長より報告された。

(委員)

市民の間では、支援センターが市民センターに移転することや新しい図書館について様々な議論がされている。支援センターとしては3・4年先のイメージづくりなどを運営委員会で話合っていくことでないかと思う。

(委員長)

今日は、第一報としての報告で、移転にはハード面とソフト面の両面があり、

どの様にしていくかは、これからの議論になると思う。

運営委員会として、何らかの形で議論をすることになると思う。

次回、運営委員会の開催時期については、新型コロナウイルス感染症の感染を鑑みて日程を正副委員長と協議の上、決定することを報告した。